

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【令和元年度】

主管課名(担当名)	水産経済部農林課(林務・自然保護担当)		
事務事業名	春国岱原生野鳥公園管理事業	事業番号	215
重点プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	4-3 自然資源の賢明な利用促進
	施策目標	人と自然が共生しその恵みを次世代へ引き継ぐまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	根室市民、観光客を含む利用者
	対象者の今後の予想	同程度
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	①春国岱周辺の環境整備 ②春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンターの適正な運営	
意図 (どの様な成果を得ようとしているのか)	自然保護思想の高揚や自然資源の持続的な利用が図られ、自然環境の保護保全につながるとともに、観光資源としてのより一層の活用が図られる。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値 (H29)	実績値					目標値 (R2)	目標値 (R7)
		H27	H28	H29	H30	R1		
1 市民との連携・協働による自然環境の保護・保全活動の参加者数	59人				85人	68人	70人	100人
2								
3								
4								
事業費(=下記内訳計)		R1予算		R1決算		R2予算		
		19,773		19,430		17,498		
内訳	国道支出金	13		13		13		
	地方債							
	その他	19,760		19,417		17,485		
	一般財源	0		0		0		
人員(人工)		0.25		0.25		0.25		
職員人件費(=人員(人工)×7,693千円)		1,923		1,923		1,923		
総事業費(=事業費+職員人件費)		21,696		21,353		19,421		
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)		319		314				
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)								

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input checked="" type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	
今後の動向・市民ニーズなど	世界有数の野鳥の楽園である「風蓮湖・春国岱」は、野鳥観察や自然環境教育の場として利用されていることから、春国岱周辺の環境整備等を実施することにより、より一層の自然環境と調和し安心かつ快適に観光できる基盤の整備促進に努めることが必要とされている。

5 事務事業の評価

	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	春国岱周辺の環境整備等を実施することにより、より一層の自然環境と調和し安心かつ快適に観光できる基盤の整備促進に結びついている。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンターの管理については、設置者である市が実施すべきである。なお、運営業務については、既に民間へ委託している。そのほか、春国岱周辺の環境整備については、関係団体や市民ボランティア団体等とより一層の連携を図り、市民協働で整備することは可能と考える。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 事業内容の中で見直しを行う必要はない。ただし、関係団体や市民ボランティア団体等とより一層の連携を図り、事業の充実について検討することは可能と考えられる。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 毎年、各委託業務内容については精査しているところ。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 春国岱周辺の貴重な自然環境を保持し、自然保護思想の高揚を図るため、自然教育の場として春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンターが設置されている。その中で、動植物の調査、自然保護等の指導、その他目的を達成するために必要なことを業務としており、他の事業と統合できる可能性はない。
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> 既に負担がある 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター条例第6条において、ネイチャーセンターの入館料は無料とする規定がある。なお、第8条において、施設の利用者の便宜を図るため、物品等の販売を営もうとする者について、施設の設置目的を妨げない範囲で使用する許可をすることができるとされ、第12条にて使用料の定めを設けているところ。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (R 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	---

作成年月日

令和2年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【令和元年度】

主管課名(担当名)	水産経済部農林課(林務・自然保護担当)		
事務事業名	春国岱原生野鳥公園整備事業	事業番号	12048
重点プロジェクト	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	4-3 自然資源の賢明な利用促進
	施策目標	人と自然が共生しその恵みを次世代へ引き継ぐまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	根室市民、観光客を含む利用者
	対象者の今後の予想	同程度
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター等の各種環境整備	
意図 (どの様な成果を得ようとしているのか)	春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンターは、バードウォッチャーが多く訪れる主要な施設であることに加え、外国人利用者が増加していることから、本事業によりインバウンド対策はもとより環境整備等について対応し、交流人口の増加を図る。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値 (H30)	実績値					目標値 (R2)	目標値 (R7)
		H27	H28	H29	H30	R1		
1 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター来館者数(毎年1.4%の増)	9,461人					9,654人	10,232人	12,446人
2 ネイチャーセンター主催行事への参加人数(毎年4%の増)	124人					129人	133人	158人
3								
4								
事業費(=下記内訳計)		R1 予算			R1 決算		R2 予算	
		1,291			1,275			
内訳	国道支出金	640			630			
	地方債							
	その他	651			645			
	一般財源	0			0			
人員(人工)		0.17			0.17			
職員人件費(=人員(人工)×7,693千円)		1,308			1,308			
総事業費(=事業費+職員人件費)		2,599			2,583			
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)		0.2			0.2			
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)		20			20			

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input checked="" type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	
今後の動向・市民ニーズなど	春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンターは、バードウォッチャーが多く訪れる主要な施設であることに加え、外国人利用者が増加していることから、インバウンド対策はもとより環境整備等を図ることが求められている。

5 事務事業の評価

	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	春国岱周辺の環境整備等を実施することにより、より一層の自然環境と調和し安心かつ快適に観光できる基盤の整備促進に結びついている。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか (民間、NPO等)	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンターは市が設置している施設であることから、市が実施すべきものである。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 交流人口を高めるものであり、関係団体とも協議した上で進めているため見直しを行う必要はない。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
カ. 受益者に負担をいただく (又は負担を見直す) 可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 既に負担がある

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (R 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	---

作成年月日

令和2年6月